



芦高Times

第36号
発行/県立芦屋高等学校
芦屋市宮川町6番3号



AUSS:Ashiya Upper Secondary School

はばたく 芦高 HBTCプロジェクト

【ASHIKO HBTC PROJECT】

芦高生が考える
県政150周年
記念事業

兵庫県のすべての県立高校では、「高校生が考える県政150周年記念事業」に取り組んでいます。芦屋高校では、「地域に学び、地域に提案する高校生による地域活性化プロジェクト」として「芦高HBTCプロジェクト」を実施しています。

阪神・淡路大震災で大きな被害を受け避難所にもなった芦屋高校では、『地域防災について探求し、地域に発信「伝えてつなげる」』をメインテーマに活動に取り組んでいます。昨年度は、地域の人達が企画する『芦屋777プロジェクト』や『非常時の「食」を考えるワークショップ』、『イザ!美かえる大キャラバン!』などのプロジェクトに携わらせていただくことで、地域の課題について考えイベントの企画運営について学びました。今年度は自主企画の地域活性化プロジェクトを地域と連携して行うことを目指しています。

この紙面の右側のような「HBTC新聞」を発行して、取り組みの様子を伝えていきます。



参加申込
不要

メインイベント

「この手でつなぐ 防災の輪」

日時：平成30年11月17日(土) 12時～15時

場所：本校体育館

内容：「防災」というテーマで、老若男女誰でも楽しく、わかりやすく、防災について学ぶことができるイベントです。

- 12:00 開会式
神戸防災体操
書道パフォーマンス
- 12:40 バケツリレー
芦高卒業生による講演会
シミュレーション上映
合唱 など
- 15:00 閉会式

つなげ防災の輪

HBTC新聞

発行元

兵庫県立芦屋高等学校
県政150周年記念事業実行委員

十一月十七日(土)に兵庫県立芦屋高等学校で県政一五〇周年記念事業が行われる。「防災」をテーマに芦高生が自らの手で次の世代へ繋げていこうという思いを込めてプロジェクトを実施する。

まず、県政一五〇周年記念事業とは何か。今年で兵庫県が成立して一五〇周年を迎える記念として各地域の活性化と歴史を振り返る機会として、イ

ベントを企画し、実施するという兵庫県主体の行事である。芦屋高校では書道部、ボランティア部が主となっている。

HBTCで「はばたく」と読み、Hは「兵庫県150周年記念」、Bは「絆」、Tは「チーム」、Cは「繋がり」の意味を持っている。

県政一五〇年十一月にイベント



「防災」を伝える イベントへの思い



プロジェクトリーダーの七十五期生柏木翔太くんは、「今回このプロジェクトのリーダーをやると思ったのは、今までゼロからひとつのものを作ったことがなく、挑戦したいと思ったからです。このプロジェクトは昨年の十一月から始まりました。三月から企画を進めるため、それまでに「イザ!

美かえる大キャラバン!」などの防災に関するイベントに参加しました。そこで得たものを取り入れながら、わかりやすく、簡単に伝えられるよう企画を練っています。このイベントで防災について一人でも多くの人に考えてもらえる機会になればいいと思います。」と述べていた。

この意味の通りプロジェクトチームでの絆や地域の方々との繋がりを大切に、行事を成功させたい。